

氏名	押野 修司	部署	作業療法学科	職名	講師
研究分野	発達障害に対する作業療法、身体教育学				
学位	修士(リハビリテーション)				
学歴	1991年専門学校社会医学技術学院作業療法学科、2003年筑波大学大学院教育研究科				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本作業療法士協会(事例登録制度A審査員)、埼玉県作業療法士会(機関誌編集委員)、特定非営利活動法人動物介在教育・療学会(理事)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(会計担当)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	イラストでわかる人間発達学 第11章 上肢機能の発達	共著	医歯薬出版株式会社; P279(担当P163-175)	浅野大喜、上杉雅之、押野修司ほか13名	2015.9
2	健康自分誌 40代からの健康寿命を延ばすための18の習慣	共著	学術研究出版/ブックウェイ;P32	松尾彰久、南雲浩隆、押野修司、小池祐士、久保田富夫	2016.3
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	該当なし				
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	発達期作業療法学	2015.4~7	定型発達(運動、認知、社会性、ADL)はを動画教材を併用し講義を行った。対象となる主な疾患および障害の定義、問題点、治療についてグループワークによるアクティブラーニングを行った。		
2	生活環境技術学	2015.10~12	学生の視野を広げるため、グループワークにより、自助具デザイン、新規事業などを、学生の目線から発表するというアクティブラーニングを行った。		
3	小児保健看護学	2016.1	小児期の成長発達の遅れを理解するために、小児期の障害と補助具の使用及び支援について講義を行った。		
(2) 演習					
1	臨床作業療法演習	2015.11~12	学生が臨地実習で必要なADL指導(更衣)の演習とOSCEの1ブースの評価を担当した。		
2	生活環境技術学演習	2015.12~2016.1	コミュニケーション分野の支援技術、WindowsOSのアクセシビリティ機能の実習、コミュニケーションボードの作成を行う。		
3	卒業研究ゼミナール	2015.10~2016.1	「卒業研究」が円滑に進められるように、手引きの作成、ゼミ配置、卒業研究の進捗管理、卒業研究計画発表会の企画運営を行う。		
4	作業療法記録報告法	2015.10-12	作業療法の記録報告に関する事項を学び、動画教材を用いて実際に観察した内容を、事実と考察に分けて記述できるように演習を行った。		
(3) 実習					
1	基礎作業学実習	2015.10~12	臨床現場でよく用いられる作業について実習を行い、活動分析および作業分析を実施した。		

2	作業分析学実習	2015.11～12	実際に革細工による小銭入れ作りの作業実習を行い、作業実施に必要な道具、工程、要求される機能などの活動分析を実施した。
3	発達期作業療法学実習	2015.5～7	情報収集、観察、面接、発達検査について講義し、子ども、保護者との関わり方を学生に示し指導し、観察記録の書き方についても添削、指導した。
4	IPW実習①	2015.8	学生が自らの専門性に気づき、また他の専門性を尊重し、4日間のケアプラン作成過程を体験し、チーム形成を学ぶ支援を実施した。(秩父地域)
5	臨地実習 I-1	2016.2～3	2年次生を対象に、4名の学生の身体機能領域の臨地実習指導を行った。期待していた以上の学習効果を得ることができた。
6	臨地実習 II	2015.4～8	4年次生を対象に、身体機能領域(2名)および精神機能領域(1名)の臨地実習指導を行った。期待した以上の学習効果を得ることができた。
(4) 論文指導			
1	卒業研究(学部学生)	2015.4～2015.12	4年生3名、3年生4名の研究計画、研究協力依頼、実施、論文執筆、発表、倫理委員会への申請書類の書き方について指導を実施した。
(5) その他			
1	「第5回学生政策提案フォーラムinさいたま」の学生支援	2015.8～11	指導教員として学生の指導を行い、優秀賞を受賞した。
2	3年次生の担任	2015.4～2016.3	15期生の担任として、ガイダンス、定期面談、個別面談、休学相談などを実施した。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	発達障害を専門としていない作業療法士のための研修会	一般社団法人埼玉県作業療法士会	「埼玉県における発達障害に対する支援」「(発達障害のある)子どもを見る視点」
2	獨協埼玉中学校 総合学習(演習)	埼玉県立大学	「車イス体験」の講師
開催年月	2015.8	2015.6	
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	狭山市役所 保育課	狭山市公立保育所巡回指導の講師	2015.4～2016.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	地域産学連携委員会		
2	地域専門職連携推進部会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		